



教推連会報

平成27年5月1日(第55号)

大阪府教育推進連盟

http://www.kyosui ren.org

〒562-0032 箕面市小野原西2-6-11

電話・FAX 072-729-4339

編集・発行 教推連 広報部

新たな希望と飛躍の門出

平成二十七年新年会・懇親会

新春早々の一月十一日(日)、多くのご来賓の方々をおむかえし、会員の多数参加のもと、新年会がホテル・アーナーナにおいて盛大に開催された。開会のことは、国歌斉唱、会長挨拶に続き、ご来賓から励ましの言葉や年頭の抱負等心のこもったことをいただいた後、ご来賓全員の紹介、祝電の披露で第一部を終了した。

続いて、懇親会に華を添えるアトラクションとして、「シャンソンを楽しむ」

(文責・広報部)

昨年十一月には、大阪府教育委員会中原徹教育長様(当時)との教育懇談会が実施されました。その報告が発行日の関係で遅くなりましたが、会員の皆様にお届けできますことを嬉しく思います。

中原教育長様には、教育改革への志

注力し、近藤桂前会長のご指導のもと、内外に教推連の姿を発信することができました。以後、五〇年を節目として「これからの教推連」について、その課題と多くの先達の教育への熱い思いや活動を通して新しい教育の流れの中でどう調和させていくか、の視点で論議を重ねて参りました。

新しい出発にむけ

さらなる五〇年の充実をめざして

高く、その思いを積極的に語られるなど、予定時間を越える充実した時間となりました。また、府の教育施策について詳しく提案下さいました関係の先生方にも厚く御礼申し上げます。

昨年は、六月の五〇周年記念事業に

であったように思うのです。

論議の中で、発進力をもっと強く、との指摘と同時に、活動内容の充実が必須の条件になること。そのための教育研究・研修の重要性を感じさせられた一年

会員の皆様におかれましては、これまで同様、一人一人の知恵と体験を生かし、社会貢献にむけてその推進に積極的な取り組みをご期待申し上げております。皆様の力強いご支援をお願いいたします。

会長 千秋一夫

この度、論点を整理し「新しい出発にあたって」の構想を皆様にお計りし、力強い出発を！と願っております。

組織的には、研究企画委員会を設け、研究と発信の軸として、ホームページや会報を大いに活用していければと計画しているところです。

防衛副大臣兼内閣府副大臣	左藤 章
外務副大臣	中山 泰秀
大阪府府議会議員	富田 健治
大阪府教育委員会中学校課長	坂本 章
大阪府立小学校長会副会長	福森 洋一
大阪府公立幼稚園長会会長	柴山 浩一
大阪府公立幼稚園長会会長	山口加津子
教育なにわ会会長	森田 一三
教育おもしろい会会長	栗山 善男
大阪府の実業副会長	西川 兼子
(全国退職女性校長会)	川野浩三郎
一般社団法人友松会理事長	中西 義弘
一般社団法人豊池会理事長	奥 始
一般財団法人常盤会顧問	長濱 春洋
大阪府立小学校長会副会長	諏訪部善則
公益財団法人日本教育公務員	
弘済会大阪支部支部長	

ご来賓(順不同・敬称略)



和気あいあいと懇親会



菊山ひろみ様によるアトラクション



会長 挨拶

◆総会・懇親会のご案内
日時 平成二十七年六月七日(日)
場所 ホテルアーナーナ大阪

との懇談会



平成26年11月19日（水）に開催された「府教育長との懇談会」は、教推連西岡庶務部長の司会で、千秋一夫会長が挨拶、続いて、中原徹教育長、富田健治府議会議員にご挨拶をいただいた。府教委側及び教推連側の自己紹介の後、意見交換に入った。

一、教員の資質向上

田中 学校は学力・心・体を養い社会性を培う。教員はグローバル化・情報化が求められる、役割が大きく、資質が求められる。大阪の学力状況は本人の努力、先生の力だけではなく、家庭の経済力も影響している。昨年、新しい時代に向けて策定された教育振興計画について伺いたい。

西岡 若い先生の力をつけるため、どのような研修をお考えか。学校を活性化するには、4〜5人が核となつてリードし、人を育てて行かなければならないと思うが。

浅田 平成27年度教育センター運営方針の会議で、大学の先生から「次世代を担う人材を育成するために、初任者研修の充実を図り、学び続ける教育を強化する」ようにと話された。今年度から初任者研修プログラムとして、10年経験者研修（法定研修）参加者に初任者研修のチームリーダーを任せ、初任者とミドルリーダーの育成を兼ね備えたプログラムを作成

した。小中高の管理職に説明し、学校全体で人材育成の組織作りを依頼した。また、府教委の育成事業として経験の少ない先生を集め、学校の課題に対して解決していく方策について年3回程度研修している。

梶田 多忙で遠くの研修に出席できない先生に向けても、各市町村教委が工夫して研修を進められるように、教育センターは校内研修の組み方の知恵を提供する研修支援プロジェクトも立ち上げている。

二、学力向上への方策

山田 全国学力調査の結果を見て、大阪は全国平均より低いのが、先生方の授業力を高める取り組みはしている。カリキュラムに問題がある事を踏まえて学力をつけるにはどうすればよいかを考えなければならぬ。子どもに課題を与え、その中から課題解決の仮説を立て、結論を見つけ出していく教育が必要であると思う。

西岡 学力向上の方策は、基礎基本は勿論だが、応用力の学習が大事。発見学習、課題解決学習で思考力、理解力をつけ、自ら課題解決していくフロンティア精神が必要だと思う。

坂本 小学校は24・25年の学力調査が悪かったことについて、全市町村の教育長に聞くと、この間がらばっているの、悪かった原因は分からない

いと言う。よく分析すると、基礎基本の徹底をしている学校は2〜3%。全教職員が同一方向性を向いてやっているという数字は下がっていることから取組みのゆるみがあるのではと、9月に全校長に、伝えた。

B問題は得意ではないが、学習指導要領をきちんと教えていればできる。問題に難問はない。やりきれない現状がある。19年度は府内の先生から普段学校で教えていない問題を出されては困るとの声があった。ここ数年は現場から聞こえて来ない。学習指導要領のねらいに沿った毎日の授業をどう組んでいくか、先生方が直視して現場で考えて行くことが大切である。大阪の子が苦手とするB問題をまとめた問題集を4年間提出してきた。子どもにやらせ、できるかできないかを調査し、どうするかを現場で具体的に考えてほしい。

教材については、この秋リニューアルし、国、数、英に社を加え提供。19年度に大阪の課題が分かって、課題のある学校に直接出向いて支援している。学力向上担当の先生と膝を交えて直接指導に年間何回か行っている。この秋は、課題のある29市町村にも小中合わせて声をかけをし、来年4月からどうしていくのか提案している。

教員OBの活用は、府教委事務局に3名の校長OBと指導主事とがべ

アーを組んで学校を回っている。市町村でも同じ取組みを独自で行っている6市に半額支援をしている。OBの先生はものを言いやすいし、現場も聞きやすい。

山田 府教委の取り組みにより、課題のある学校も力をつけていくだろう。府下のレベルの高い学校の取り組みを聞いていただき、伝えていくのも一つの方法ではないだろうか。

坂本 学校現場の研修で、いい事例を報告してもらうことを心がけている。小学校の丁寧な取り組みが中学校でも生きる。先生方が何か方針を決められ、それを丁寧に指導すると子どもに伝わる。

西岡 教育長さんが学力について懇談されているのをTVニュースで見ただけです。

教育長 フィンランドでは、落ちこぼれ、ついて行けなくなった子をつくらない。だから、小中で突き抜けた子はいない。日本では、優秀な子は小学校2・3年から難関校を目指して勉強を始めるが、フィンランドでは、「分からない子がいたら教えてあげなさい」というやり方で、15歳まではきつちりと面倒をみる。16歳になると急に冷たくなり、自分で調べよと。高校生になると、大学に入るコース、仕事をするコースをコンピューターで調べ、選択していく。



府教育長

三、小学校における「外国語活動」の現状と課題

二澤 小学校に外国語活動が取り入れられて4年目。平成24年度は学校現場でどのように定着されているか知るため、サンプリ的に府内南部の小学校15校でアンケートを実施した。

校長・研究主任・外国語担当主任から回答を得た。5年6年の履修は勿論、3年4年においても、国際教育の観点から年間何時間か実施されている学校があった。現場からの課題として次の3点があげられる。

- (1) 指導者の指導力が大きい。
 - (2) 国の教材（ハイフレンド）に関わって副教材を作るのが難しい。
 - (3) 進学先中学校との連携、連続性の問題。
- 平成25年度は、11月に和泉市内の小学校5年生の授業参観をした。いきいきとした45分間、殆んど日本語を使わず実施。終了後、担任とALTと市教委担当指導主事を交えての意見交換会で、外国語活動が効果的に行われているポイントとして次の3点があげられた。
- (1) 担任と指導助手との望ましい人間関係が作用しているのではない。
 - (2) 教科の自主教材（興味関心を

引く教材）を効果的に使う。

- (3) 校内全体で外国語活動をどう取り組むかの体制が何年間かの積み上げでできている。

府教委として各市町村に対して外国語活動に関わっての施策3点についてお聞かせ願いたい。

- (1) 各市町村に指導助言をされておられるかについて。
- (2) 小中連帯の観点から府独自の施策について。
- (3) 国の動きとして、小学校3年生からの実施、5・6年生の活動の強化、中学校英語教育の改善提言があったが、グローバル人材の育成に関わっての府の考えについて。

坂本

小学校3・4年で週1コマ、5・6年で週3コマ。課題は指導力、教材、連携の点で、7中学校区16小学校に研究開発をお願いしている。

小学校の先生方で英語が堪能でない先生方でも取り組める教材、指導法のパッケージフォニックス指導法の考えで発音と文字の基礎を身につけて行けば、できるのではないかと。民間のノウハウも生かして大阪にあった教材作成をしている。

中学校との連携は、国の目標設定が英検3級から準2級に変化した中で、洋書を興味ある副教材として使っていていく活動を7中学校区で研究実施している。国の方向性に向けて

スピードアップして行きたい。

教育長

日本の子どもが日本語を覚える順序は、毎日母親から「聞く↓話す↓読んで↓書く」である。第2外国語として英語は「読む↓聞く↓書く↓話す」である。ローマ字で読んでしまいい間違っ覚えてしまうので、聞いても分からない。一音を正しく認識し、音と文字のルールが解かれれば1年生から遊びながら覚えていって、6年間経てばなんとなく分かるようになる。分かりやすいDVDが1年後にはできる予定である。子どもも、先生方も、お母さん方も楽しんでほしい。

四、子どもの体力について

三木 大阪は体力も劣っている。スポーツ組織的には、野球、サッカーなど多くある。地域の者として何をフォローしていけばいいか考えている。

縄跳び、駅伝、ドッチを推奨する動きがあったが、それぞれの市町村で浸透しているのか。茨木市は水泳に力を入れている。スポーツテストの結果の悪さはずっと続いている。スポーツテストに取り組む先生方の意識の低さ、反復横跳びなどの要領が分からないのだろうか。府教委のお考えをお聞きたい。

中島 全国的にもできる子、できない子の二極化が言われている。大阪で

も同じ。やらない子の底上げをどうしていくのか。子どもが楽しんで体を動かすことが大事。空間・時間・仲間の3つの間が必要であるが、学校は取り組みやすい運動をする。いろいろな運動の中で育むことが大切ではないだろうか。

富田 日本は人をもって技術、知識で生きていかんと術がない。次の時代、数も大事だが質も大事である。熱意は人を動かす。

（文責 広報部）

◆府側出席者（敬称略）

府 議 会	長 富田健治
教 育 長	中原 徹
市町村教育室小中学校課参事	坂本暢章
教育振興室高等学校課首席指導主事	浅田充彦
教育振興室保健体育課首席指導主事	中島彩子
教育総務企画課首席指導主事	榊田千佳
教育総務企画課総括主査	和田隆一

◆教推連側出席者

会 長	千秋一夫
副 会 長	山田 孝
副 会 長	片岡節子
副 会 長	三木 昭
専 門 会 長	田中洋慈
専 門 会 長	西岡璋典
専 門 会 長	橋本榮子
専 門 会 長	岩本好夫
専 門 会 長	二澤隆史
専 門 会 長	藤本幸晴
専 門 会 長	板坂知子
専 門 会 長	安田陽子
専 門 会 長	長岡幸子

地区教育懇談会

各地区とも、現職で活躍されている方々との交流や意見交換を中心に、教育の正常化と地域の活性化を狙った懇談会となった。詳しい実施内容は、別途発行される「提言集」を参照いただきたい。

豊能地区

日時 平成26年8月25日(日)
場所 豊中市 ホテルアイボリー
テーマ 「ことば・学校図書館教育の取り組み」

～実践校の校長を囲んで～

講師 ①池田市立池田小学校校長 平井和美
②豊中市立中豊島小学校校長 舟岡直子
③箕面市立箕面小学校校長 松山尚文

概要

- ①「今こそことばの教育を」
・生活つづり方の継続指導
・自然や社会に目を向けありのままに綴ることが確かな認識力につながる
・毎年「生活つづり方集」を発行
- ②「ふだん使いのなかってこ図書館」
・「とよなかブック村ネット事業」
・「人・情報・物流」の有機的結合
・朝の読書タイム、お話会
・いろいろなコンクールの開催
- ③「箕面市における学校図書館の現状」
・オパックという全小中学校と公共図書館をつなぐシステムづくり
・学校図書館と授業との連携強化
・日常的に学校教育をサポート

(記・野田悦利)



三島地区

日時 平成27年1月31日(土)
場所 高槻市立市民交流センター
テーマ 未来の金の卵たち
提言者 高槻市立清水小学校 勝浦 良明

要旨

現在四名の初任者を指導している。新卒者から講師体験者まで年齢には巾がある。
○伝えたいこと、伝えてきたこと
授業を軸とし、子どもひとり一人への深い愛情を持って接すること。迷ったり、困ったりした時は、子ども達にとって一番良いと思える方法を取る。子ども達と信頼関係があってこそ教育は成立する。
○初任者の先生達の思いや疑問
具体的な指導法を求めたり、どうして子ども達はわからないのかと悩む人もいる。こどもに寄り添い、準備物も必要なことを指導する。

- 初任者が育っていく学校
 - ①学校全体で初任者指導のシステムがあり、機能している学校
 - ②学校の目標・組織・研究が明確で、常に改善していくこうとしている学校
 - ③学校の先生の下支えがあり、言葉かけをお互いにする雰囲気のある学校
- 後の話し合いでは、市の研修や校内公開授業等の大切さが出された。(記・清海操子)

泉北・泉南地区

日時 平成26年11月15日(土)
場所 うお健中店ビル三階会議室
テーマ 「和泉の教育と課題」
講師 和泉市教育委員会教育指導監 小川 秀幸

概要

「小中の段差」が教育課題となつて久しいが、中一での不登校や問題行動の増加等その解消は容易ではない。
そこで、今回は、その課題解決にむけて熱心に取組みを進めている和泉市教委から部長級講師を招き講演をいただいた。
講演は、穏やかな語り口の中にも小中一貫教育への熱い思いを込めて、約一時間語っていただいた。

和泉市では、数年前から教育委員会主導で小中連携から一歩進んだ小中一貫教育の推進に力を入れている。離れた場所に位置する小学校・中学校でも、教育目標や取組みに一貫性を持たせて互いに連携を図りながら、義務教育九年間を見通した教育活動を行う小中一貫教育を進めている。モデル校区を指定したり小中一貫コーディネーターを配置したりするなどしながら着実に成果をあげつつある。平成二十九年度には、施設一体型の新設校が開校する予定だそうで、さらにその推進に加速がつけことが予測される。

講演の締めくくりに「小中一貫教育は、それ自体が目的ではなく、確かな学力を身につけた心豊かな子どもの育成するための一つの手段である。」という一言が印象に残っている。

(記・森富士雄)

五支部合同

日時 平成27年2月14日(土)
場所 道頓堀ホテル
テーマ 「子どもを取りまく教育の現状と課題」

提言者

河内長野市立美加ノ台小学校校長 掛水一信
大阪市立開平小学校校長 赤銅久和
大阪市立天王寺小学校校長 阪口正治



概要

美加ノ台小からは「ICTを活用した教育」ということで、インターネットを使ってスリランカの子ども達と交流する様子が語られ、リアルタイムに相互の愛情を知り、国際交流と相互理解を深めるICT教育のメリットを印象つけた。

大阪市の二校からは、子どもたちを取りまく教育の現状と課題を、「大阪市」と「国」の動向から現場の状況は報告された。学習状況調査、土曜授業、学校選択制、校長戦略予算、ICT教育等々、これからの教育改革について参加者の関心は高く、活発な意見が交換された。(記・吉原淳一)

小学校における「外国語活動」

の現状と英語教育改革

教育問題研究部長 二澤 隆史

一、「外国語活動」の現状

現行の小学校学習指導要領においては、第五学年及び第六学年が週一時間「外国語活動」を実施することとなっている。本活動の導入に際しては、時代の流れ（グローバル化の時代）と他国での英語教育の実施状況等の社会的要請を考慮しつつも、学校現場での不安感や実施上の条件整備上の課題等、様々な議論があったところである。

(1) 学校現場の状況

・実施状況については、各校において週一時間の外国語活動が実施され、また低学年、中学年においても国際理解教育に関する諸活動が実施されている。

・小学校におけるA・L・T等の活用状況については、市町村によって配置条件が異なるものの、A・L・T等とのT・T指導が行われていることがわかる。また中学校教員（英語科）が管下の小学校の授業に係わっているケースもみられ、今後のあり方、とくに小中連携の上からも望ましいと考える。

・小中連携の状況については、

情報交換、交換授業、小中連携したカリキュウム作り等、先進的な中学校もみられる。

(2) 実施上の課題

・指導者側の問題としては、担任の力量と取り組み姿勢やA・L・T等との打ち合わせ時間の確保の問題、教材準備のための時間不足や指導方法・技術向上のための研修会の必要性等がある。

・教材、設備等の課題として、

「外国語活動」専用ルームの確保や小中連携のための時間調整また各地教委の支援体制の課題等もある。

以上、いくつかの課題はあるが、各校での定着状況は概ね良好であり、それぞれの学校の実状に応じた創意工夫もみられた。

二、先進校での授業参観から

去る平成二十五年十一月、和泉市教委のご尽力と青葉はつが野小学校のご協力により、第五学年の「外国語活動」の授業参観の機会を得ることができた。まず、四十分間を通して、日本語を使わず担任とA・L・Tとの息の合った授業進行に感心させられた。また、どの子も生き生きと楽しみながら積極的に英語で会話しようとする姿

勢がみられた。当日の授業構成、教材、指導方法のすばらしさから本活動の目標に大いに迫る内容であった。とくに授業のまとめの段階で「インタビュゲーム」と称して、その授業で練習したフレーズを使って相手と積極的にコミュニケーションを図り、学んだことを体験的に生かしている場面が印象的であった。

(1) 本活動を効果的にすすめるためのポイント

・指導方法、教材（副教材も含め）がよく工夫されていた。

・担任とA・L・Tとのコンビネーションがすばらかった

・本活動専用の教室の設置と壁面等の環境づくりがよかった。

授業参観後の意見交換の場でも多くのことに気づかされたとともに、市教委の支援体制が充実していることを強く感じた次第である。

三、国のグローバル化に対応した英語教育改革

平成二十六年九月、小学校の「外国語活動」の改革と中学校での英語教育の充実について、国の有識者会議がまとめた提言では、アジアトップ級の英語力を目指し、小学三年から学習を開始すること、

「聞く」「話す」「読む」「書く」の四技能を測る大学入試に改善すること等が示された。具体的には五年後に新たな英語教育が本格実施できるように、今年度から遂次改革を推進するということである。内容としては①小学校中学年から週一〜二コマの活動、②高学年においては、週三コマの教科型の学習、③中学校においては、身近な話題についての理解や簡単な情報交換表現ができるレベルまで英語力を上げること。等である。

おわりに

小学校「外国語活動」が各校の創意工夫及び各地教委の支援等により、それぞれ定着しつつあり、今後のさらなる充実が求められるわけであるが、国が示す英語教育の改革が実のあるものになるためには、いくつかの条件が必要であると考える。以下、列記し、両研究部の共同報告としたい。

①教科化のためには教員養成において「英語指導」に係るカリキュラムの充実。②英語活動を促進させるための予算措置。③A・L・T配置のための財政的支援。④英語教育と併わせて国語教育の充実。





灘菊酒造 見学記念 平成27年3月4日

研修旅行記

「播磨の地を訪ねて」

平成27年3月4日(水)

本部事業部長 北野 作 記



廣峰神社にて

―黒田官兵衛ゆかりの地と西国大名参勤交代陸路出発点の史跡を訪ねて―

三ヶ月間の研修を終えたばかりの私は、久しぶりの旧知の方々と旅空を見上げる。青空だ。心弾ませ集合場所へ。もう集まって下さっている。あと一名。定刻には全員集合。予定通り梅田に向けて出発。

今回の研修旅行は、副部長の室田先生に任せきりで、ご苦労をおかけしての実施で感謝の気持ちでいっぱいになりながらバスにゆられて梅田に到着。あと一人。少し待ち、全員集合(15名)。阪神高速から中国自動車道へと向う。西宮北口から山陽自動車道に。途中、三木SAで五分休息。高速道をおり、官兵衛ゆかりの地、廣峰神社に向う。急な山路をどんどん登って行き、バス方向転換地で下車。

これより廣峰神社へ徒歩で向かう。歩くのが無理な方は車で迎えに来てもらった。

本殿前に全員集合し、宮司さんの説明に耳を傾ける。前庭の木の間から姫路城や市街地の景観を楽しみ、随神門を背景に集合写真を撮り、バス駐車場へと向かう。山を下り、真白に装いも新たにした姫路城を右手に見ながら、灘菊酒造へと向った。

現在、女性が杜氏を務める灘菊

酒造蔵前に到着する。さっそく出迎えてくれたお姉さんの案内で酒蔵を見学。酒蔵を出て記念撮影をする。最後に急勾配の階段を登り、酒蔵の二階へ。ここが本日の昼食場所。ここのお酒で乾杯し、「羽柴の膳」に舌鼓を打つ。ゆっくりくつろいだ後、売店でそれぞれの思いの品を求めた。

次の亀山本徳寺にはすぐ到着。本堂に向かう。住職から本寺にまつわる故事来歴について説明していただいた。だが、我々が予定していた時間が短かく、十分説明できなかったことに不満に終わられた。

再びバスにゆられて室津に向かう。やがて、海岸沿いの曲りくねった道を走り、室津漁港の駐車場に着く。汐のかおりを胸いっぱい吸いこみながら、ぶらぶらと室津海駅館に着く。歴史の概要を学び、室津観光ガイドさんの案内で町並みの見学に出発した。昔の本通りを江戸時代に思いをはせながら見学し、賀茂神社へと歩を進める。古く平安時代から海での安全を祈願する神社として祀られてきたそうだ。

後は浜沿いを帰り、室津海駅館でガイドさんに別れをつけ、海産物の土産物屋に寄ったりして、ぶらぶらとバスにもどった。

帰り梅田のいつもの所で下車するためには、午後七時までに到着と

いう制約がある。綾部山梅林に寄るかどうかわかんた末、せっかく来たのだから、時間を短縮してでも梅林も見学することにし、梅林に向かった。広々とした菜の花畑を見ながら駐車場に到着。

梅林は全体を見わたすと三分咲き程度、海の見える所まではいけず途中で引き返した。残念な思いを残しながら、バスにもどった。

全員一路梅田へと。龍野西より山陽自動車道へ入り、途中、西宮名塩SAで休憩をとり、梅田へと向かった。宝塚での渋滞も少しですみ、池田より阪神高速へ。副会長さんのしめのお言葉をいただき、六時過ぎには梅田に到着。下車する方々と別れる。その後、御堂筋を南下して、六時三〇分に難波で解散できた。

本堂に充実した研修旅行ができましたことを、お世話になりましたドライバーさん、添乗員さん、室田先生、ご参加下さいました皆様に感謝しながら帰路についた。

〽研修旅行に参加して〽

西播磨の歴史と自然を訪ねて

大阪市南 長江 祥子

三月上旬、西播磨の歴史と自然を満喫する楽しい見学研修でした。

難波・梅田から西播磨へ出発。坂道を登り、広峯神社の仮本堂で

神社の歴史や関わりのあった大名や軍師の話に聞き入りました。国宝『姫路城』を横目に、灘菊酒造で見学と昼食で親睦を深めました。賀茂神社・亀山本徳寺と研修が続きます。潮の香漂う室津の町並。風待ちの港や宿場・本陣跡などをゆっくり見ながらの散策でした。車窓から見える菜の花畑を過ぎ三分咲きの紅梅や白梅は凛として満開の時を待ち、ほのかな甘い香りに包まれた綾部山梅林でした。有意義で楽しかった見学研修に感謝しながら帰路に着きました。

西播磨の歴史と自然に浸る

大阪市北 長岡 幸子

三月の陽光と参加者が醸し出す和やかな雰囲気の中、バスは出発。

広峯神社では、古備真備、黒田官兵衛や陰陽道の話を興味深く伺う。御師の屋敷跡・崩れた土塀に時の流れと栄枯盛衰を実感。

姫路城下の灘菊酒造では、美味しい食前酒つきの御膳を堪能。

五百年の歴史が其所に残る亀山御坊本徳寺では、二百畳の本堂で、「仏様に手を合わせ今日の『幸せ』を感謝しましょう。間違っても物だのみはしないように。」海を通して外部世界とつながっていた室津。ボランティアガイドさんいおしの、賀茂神社からの

瀬戸内海の眺めは、絶景。

ひと目二万本と讃えられる綾部山梅林を散策し、北野・室田両先生の綿密な計画に感謝しながら、帰阪した。

卓 話 (十二月)

フィリピンのセブ島で

支援をして十七年

豊能支部 奥井 正光

セブ島の貧しいロロイ達の一族は極貧の生活に耐えながら、二十人程の子ども達を抱えて借家を転々としていた。子ども達も助けあいながら生活していたが、学力優秀な子どもも多く家族の努力によって大

学出身者もで、ロサマリアは教師になって私の長年訪問している小学校で日本語指導の手伝いをして、ゼネリンは今年大学を卒業して新任教師になった。十七年間の物心両面の支援に満足感を覚えている。

次に電気も井戸もトイレもない

離島ハンボンガンへ十二年間通い続けている。児童約九十名、教師三名の複式学級。セブ島から船をチャーターして一時間半。船が近づくと子ども達は教室から飛び出して歓迎してくれる。学校の屋根を利用して大型の水タンクを寄贈したり、学用品や食糧の支援をし



◇ 贈られて文房具やうちわを持って喜ぶ子ども達



◇ 離島の子ども達から感謝の手紙が届く

卓 話 (二月)

「大人のための絵本・語り」

南河内 曾我 正雄

川崎市の事件を知ったとき、加害者グループの心の崩壊に愕然とした。もし、彼らが今も絵本に触れておれば、もっと真つ当な道を歩んでいたことであろう。「おにちゃん、この絵本読んで」と二歳児が「くつくつあるけ」の絵本をもってきたとき。お兄ちゃんはこの絵本の世界に引きこまれ、やさしい気持ちになるに違いない。今、希望を失い、自暴自棄になっている人も、孤独に苛まれていている人も、絵本に触ればきっと笑顔になるであろう。その意味で大人にも大いに絵本を読むべきだと主張したい。ノンフィクション作家、柳田邦夫氏は、「絵本は、子どもだけのものではない。深く味わいのある珠玉の絵本は、中高年の人生を豊かにしてくれる」と述べておられる。

絵本を自由に選べるのが大人の特長、大人になってから、絵本を開いてみる。大人は、人生経験を重ねているからこそ、子どもの時とはまた、違った感動を得ることができるのである。言葉が心に染みる絵本、楽しさに時を忘れさせる

てくれる絵本、経験を重ねてきたからこそ共感できる絵本。絵本は、年齢に関係なく人を豊かにしてくれる存在である。絵本の世界の懐の深さを感じてください。

私は十八歳から二十二歳の学生にたくさん絵本を読ませ、それを「絵本の世界」という感想文として書かせてきた。教職につく、つかぬは関係なしに、絵本を通して、多くの知識と豊かな感性を身につけ卒業していった。

私は、老人ホームや介護施設にボランティアに行くときは、必ず絵本の内容を語りとして語り、今の話は、この絵本に書いてあったのです。といって絵本を紹介している。こっくりと納得しながら聞いている。こっくりと納得しながら聞いている。老人ホームや介護施設にも絵本をたくさんおくべきだと、入居者がお互いに絵本の読み聞かせをしていく姿を脳裏に描きながら思っている。企業戦士のストレス発散のよすがともなり、一家団欒の触媒とも絵本はなってくれる。読んだ絵本を語ることを通して、語る喜び、聞く喜びを共有してほしい。インターネットで「大人にお勧め絵本ナビ」にアクセスするのも面白い。年齢に関係なく人を豊かにしてくれる存在が絵本である。

万華鏡

会員のページ

会員の皆様の提言、随想、雑感、紀行文、趣味の発表など、自由なご寄稿をお待ちしています

「ながらスマホ」と自律心

大阪市南 大槻 雅俊

退職してはや三年が過ぎた。時間があるときは街中をよく歩く。

そこでは多くの人が足早に行き来している。なかにはやや蛇行しながら周囲の歩調に合わせず歩いている人もいる。ひょいと後ろから覗いてみると、ほとんどの人が「ながらスマホ」をしている。駅構内などで、「ながらスマホ」の注意がされていても聞く耳もたずである。自分だけがよければ周囲の人の迷惑など一向にお構いなしである。

「ながらスマホ」をしていて人とぶつかり、相手に怪我でもさせたらどうするのだろうか。自転車と歩行者の事故で被害者が損害賠償を請求している事実もある。福島原発事故の際に、炊き出しや救援物資を受け取る際のマナーのよさが海外でも賞賛された。にもかかわらず身近に目にする日本人のマナーの悪さはどこからやってきたのか。「ながらスマホ」の原因はどこにあるのか。聞く・話す携帯から見る携帯に進化したからか、ビジネスチャンスの瞬間だからか、それとも道徳意識が低いからか。

きつとさまざまな要因が複合しているのだろう。

最近「〇〇禁止」という表示をよく見かける。路上喫煙禁止、駐輪禁止などその例である。駅などの周辺は必ずといってよいほど表示されている。駐輪禁止は二輪車やミニバイクも法律が適用される。学校に勤めているときは、「廊下を走ってはだめ、忘れ物をしてはだめ、くはだめ」の「禁止論」が少なからずあった。つまり他律的に子どもを育てていたのである。

「ながらスマホ」は個人にとっては良いかもしれないが、時間や空間を共有する周囲の人にとっては甚だ迷惑なことである。みんなが生活しやすい社会を構築するためには、なぜいけないのかをよく考え、自律的にマナーやルールを守るものが今もとても大切なことではないだろうか。

世代間交流イベント

泉 南 二澤 隆史

去る二月十四日、私が住んでいる田尻町（人口約八千人）で、町立公民館ホールを会場として「おじいちゃん・おばあちゃんと童謡唱歌・昔遊び体験活動しよう」

というイベントを開催した。

私たちの町も、ここ数年、新しい家族の転入や若い世代が独立して転出していく状況の中で、「核家族」や高齢者の一人住まいが増加傾向にあり、高齢者と子どもたちが触れ合う機会が少なくなってきた。

また、子どもたちの生活の中で音楽も、ややもすると今流行っているジャンルのものに慣れ親しんでいるように思われる。授業で学習した童謡・唱歌が子どもたちの生活から離れ、それらの良さが引き継がれているとは言えない状況にもある。（現行の教科書には各学年二・三曲、童謡・唱歌が教材としてあり、歌唱領域において学習することになっているが）

そこで、私の所属している大阪生涯学習推進協議会が主催者となり、一緒に歌ったり、昔遊びで共に活動することにより、高齢者と子どもたちとの世代間交流の場となるように、このイベントを企画実施した。

当日は、五才から十二才までの子どもたち三十三名、高齢者二十名の参加があり、終始、和気あいあいの雰囲気の中、昔から歌い

継がれてきている童謡、唱歌の良さを共感するとともに、昔遊びを通じて、子どもたちに体を使い、群れて遊ぶ楽しさを実感させることができたと思っている。

また、このことをきっかけに、日常生活において、地域の大人が子どもたちを見守り育てることに向上していくことを願っている。

おとしまえ

南河内 豊崎 丞至

不登校のK君宅へ訪問するようになって2ヶ月がすぎようとする月曜日、校長先生に先週の様子を報告していた時、K君が入ってきた。「きてやったぞ」と言った。

私と校長先生は思わず「おおきに」と声をそろえてしまった。その日から昼食を三人でとるようになった。なぜ来てくれたのかと聞くとお父さんに「お前も18、一人前やいつまで来てもらうのか、よく考えて、『おとしまえ』は自分でつけろ」と言われたらしい。不登校の原因はわかりかけていたが、さでどうするかと迷っている時、お父さんの一言で救われた事例である。いろいろKと話し合うなかで、

「大学にはいかない。高校を出てはたらけるようにパソコンのエクセルを学びたい。簿記もすこしはわかるように専門学校へ行く。」

と、お父さんに伝えたと、それで良いということになった。今ではK君は毎日登校し、授業が終わったら、パソコンスクールや専門学校にはり切って通っている。お家では、「自信を失っていたお母さんが元気をとりもどし、前のように明るくなった」のが一番嬉しいとお父さんが校長先生に伝えてきたとのことである。関わった事例ごとにファイルしているが、もちろんこのファイル名は、「おとしまえ」である。

教育相談は、あきらめたら解決しない。粘り強く取り組むことである。また、自分でストーリーをもって取り組まないことである。

そうしないと見えるものも見えなくなり、正しい実態・原因をつかめない。根気のいることではあるが、この事例のように、家族もいかに心を痛めているかがわかる。大げさな言い方であるが、家族全員が前に進むこともある。

教育相談に係わって20年近くになるが、初心忘るべからず、全身で受けとめ、聞いて、聞いてを忘れないようにと自分に言い聞かせている。

写真

豊能 地引 民子

初旅は南の園への荷の軽し
タイの六アヒンという町で、海
から上がる朝日を写した中にこの
シヨットがありました。決して、
「やらせ」ではありません。



出発 I

声枯らしばんえい競馬人走る
北海道帯広競馬場は、そりを引
いた馬が土埃を舞い上げ競走しま
す。その横を馬の名を呼びながら
応援の人も走ります。



出発 II

◆ 押し花アート

「中睦まじく」

三島 信垣 綾子

静かな湖面を誰にも邪魔されず
に泳ぐ白鳥の姿を、パンジー等の
小花で表現し、水面はトウモロコ
シの綿毛でゆったり感を表現しま
した。



「麗しき女性」

温かさを出すために、クリスマス
スローズの花の色と大きさを考え
て配置し、色っぽさを出したいと
思いましたが、やや表現不足です。



「鯉の滝のぼり」

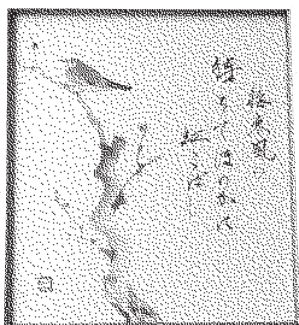
大阪市北 片岡 節子

落下する水に逆らって、真鯉・
緋鯉が泳ぎのぼっていく様を、草
木、木の皮、綿花などを用いて表
現した風景画です。



◆ 俳画

「東風」 豊能 岡田 忠



◆ 俳句

「春拾う」

豊能 岡田 忠

平穏な留守の交番春日射し
何事もなく過ぎていく町角の交
番に、自然が溶け込み安心である。
野道ゆく足裏柔らに春きざす

三月末芽吹きは脇道は、春の訪
れを感じさせ、希望を膨らめます。

「燕」

豊能 辰野 宏通

楽しさは子育て時代燕来る
骨身をおしまぬ燕の子育ては、
私自身の親育ち時代を彷彿……。
ふるさととは店の底かつばくらめ
年を重ねるごとに、故郷は益々
遠くなり、想いは益々深くなる。

ご存知ですか？ 地域の歴史

仲哀天皇陵の怪

南河内 山田 孝

河内長野市の観心寺には第97代
後村上天皇の陵がある。

ところが、最近河内長野市上原
に第14代仲哀天皇の陵があると聞
いて正直驚いた。調べてみると確
かに「仲哀天皇御廟」と書いた碑
が見つかった。私の記憶では藤井
寺市にある仲哀天皇陵が公式な陵
墓であると思っていた。

仲哀天皇の陵墓について調査し

てみると意外なことが分かった。

播州大蔵谷にも陵墓があった。福
岡市には香椎廟があり、仲哀天皇
と神功皇后が祀られているという。
(注、神功皇后は新羅へ三度も出
兵しており、摂政として69年間の
政治に関係しており天皇より有名)

何故陵墓があちらこちらにある
のだろうか。河内長野市誌には、

江戸時代の地誌「河内鑑名所記」
に上原の記述があり挿図も添えら
れているのを載せている。仲哀天
皇は神功皇后の神託を信じること
なく九州の熊襲を討つために筑紫
に向い急死している。時、同じく
せて皇后は新羅へ出兵していた。
こんな状況からして天皇を正しく
葬ることができなかったのではな
いか。当に歴史はヒ・ストリアで
ある。

あとがき

府教育長との懇談会の概要、教
育問題研究部・調査研究部合同報
告を中心に編集しました。

会員の皆様のご協力により、会
報55号ができました。

ご寄稿くださいました方々に厚
くお礼を申し上げます。

これからも、皆様に親しまれる
会報へと努力していきます。

平成26年度 事業報告 大阪府教育推進連盟

4. 7 ☆監査委員会 ☆支部長会議 ○常務理事会 ・退職校長への入会勧誘状発送 ・常務理事・理事の推薦依頼 ・総会提案議案の審議（平成25年度事業報告 平成25年度決算報告 ・平成26年度事業計画案（平成26年度予算案） ・総会実施計画・総会案内状検討 ・研修旅行の会計報告と反省	テーマ「ことば・学校図書館」 教育の取り組み―実践校の校長を囲んで― 講師 池田市立池田小学校 平井 和美 校長 豊中市立中豊島小学校 舟岡 直子 校長 箕面市立箕面小学校 松山 尚文 校長	・教育推進連盟の発展を願って ◆卓話「フィリピンのセブ島や離島の小学校訪問17年」 豊能支部 理事 奥井 正光
5. 11 ○創立50周年記念式典・懇親会 於 ホテルアウィーナ大阪 参加者 来賓22名 会 87名 記念誌発刊（提言集23集を含む）	8. 25 ○役員会 於 大阪市立南小学校 9. 1 ☆支部長会議 ○常務理事会 ・支部長会議の報告 ・府教育長との懇談会について ・研修旅行について ・創立50周年事業の会計中間報告 ◆卓話「私の生涯学習一書―」 大阪北支部 常務理事 橋本 榮子	1. 11 ◎新年会 於 ホテルアウィーナ大阪 ・第1部 式典 第2部 懇親会 ・アトラクション 歌シャンソン 菊山 ひろみ 氏
6. 2 ○理事会 ・総会案内状、会費納入依頼状、前期の常務理事会、各部会等の日程発送 ・新常務理事、理事の選出。 ・私の主張・卓話の分担計画作成 ・新会員の入会状況報告 ・新入会員の名簿作成	10. 6 ○理事会 ・会費納入再依頼の発送 ・府教育長との懇談について ・規約検討委員会発足 ・研修旅行について	1. 31 □三島地区教育懇談会 於 高槻市立総合市民交流センター 提言「未来の金の卵たち―初任者指導担当としてかかわってきたこと―」 提言者 前高槻市立清水小学校長 勝浦 良明 氏
7. 13 ◎総会・懇親会。於 ホテルアウィーナ大阪 ・平成25年度事業報告、決算報告、監査報告承認 ・平成26年度 事業計画、予算決定 ・新常務理事、理事の委属と紹介 ・新会員の入会状況と自己紹介 ・懇親会	11. 4 ○府教育長との懇談会についての打合せ 11. 10 ○常任理事会 ・府教育長との懇談について ・新年会の実施計画について ・後期の常務理事会、各部会等の日程について ◆卓話「ブラジルとの異文化交流―音楽活動を通して―」 中河内支部 常任理事 山内 武治	2. 2 ○常務理事会 ・新年会会計報告、新年会の反省。 ・研修旅行について ・50周年決算報告 ◆卓話「大人のための絵本・かたり」 南河内支部 常務理事 曾我 正雄
7. 28 ○拡大役員会 ・各部長、支部長の紹介 ・新常務理事の業務分担について ・会員の所属について	11. 15 □泉北・泉南地区教育研究懇談会。 於 うお健中店 講演「和泉の教育の成果と課題―小中連携から小中一貫教育―」 講師 和泉市教育委員会 小川 秀幸 教育指導監	2. 14 □五支部合同教育懇談会 於 道頓堀ホテル テーマ「子どもたちを取りまく教育の現状と課題」 提言者 大阪市立天王寺小学校 阪口 正治 校長 大阪市立開平小学校 赤銅 久和 校長 河内長野市立美加の台小学校 掛水 一信 校長
8. 4 ○常務理事会 ・拡大役員会の報告・総会、懇親会の反省・会計報告・研修計画について ◆卓話『「いずみ子ども文楽の会」の取り組みについて』 泉北支部 常務理事 高橋 俊宗	11. 19 □府教育長との懇談会 於 府議会会館 12. 1 ○理事会 ・会報54号発行、会員名簿発行（新会員等のみ） ・新年会案内状、研修旅行案内状、会報54号、名簿の発送 ・府教育長との懇談会の報告。	3. 2 ○理事会 ・地区教育懇談会の総括と反省 ・退職校園長入会の勧誘等について ・新しい出発にあたって ◆教育問題研究部会・調査研究部会報告 「小学校における外国語活動の現状と課題 パート2」 調査研究部長 二澤 隆史
8. 24 □豊能地区教育研究懇談会 於 ホテルアイボリー		3. 4 □研修旅行 西播磨の歴史と綾部山梅林 3. 31 ○役員会
		規約・内規 26年 11月10日 12月1日 検討委員会 27年 1月11日 2月2日 3月2日

平成26年度 会計決算報告書(案)

平成26年 4月1日～平成27年 3月31日

大阪府教育推進連盟

	項目	予算額	執行額	増・減△	備考
収入の部	1 前年度繰越金	563,872	563,872	0	平成25年度の繰越金
	2 会費	750,000	748,000	△ 2,000	2,000円×374
	3 賛助会費	20,000	20,000	0	10,000円×2
	4 雑収入	5,000	169,610	164,610	旅行残金（H25）、50周年懇親会、総会、忘年会、新年会残金、利息等
	合計	1,338,872	1,501,482	162,610	
支出の部	1 総会費	30,000	5,323	24,677	総会費・案内状発送費
	2 会議費	30,000	20,000	10,000	諸会議費
	3 活動費	600,000	599,160	840	提言集・会報発行・支部会等
	4 通信費	200,000	229,992	△ 29,992	会員への通信費
	5 消耗品費	130,000	128,372	1,628	文房具・用紙・コピー等
	6 備品費	0	0	0	
	7 慶弔費	20,000	1,500	18,500	祝電・弔電・献花料等
	8 手数料	1,000	80	920	郵便振込手数料等
	9 雑費	0	0	0	
	10 予備費	327,872	319,052	8,820	50周年記念事業費等
	11 次年度繰越金	0	198,003	△ 198,003	
	合計	1,338,872	1,501,482	△ 162,610	

左記の通り、会計の決算を報告します。

平成27年 3月31日

会長 千秋 一夫 ㊞

会計 和田 順子 ㊞

〃 地引 民子 ㊞

監査の結果、業務の執行並びに会計諸帳簿・証拠書類の記録・保管は適切であることを認めます。

平成27年 4月 6日

監事 岩田 茂 ㊞

〃 岡田 忠 ㊞